

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2024 年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則・WA競技規則および、競技会における広告および展示物規程、並びに大会要項及び申し合わせ事項により実施する。

広告規程：<https://www.jaaf.or.jp/news/article/14995/>

※ユニフォーム等：JAAF 国内規程 国内大会（ユニフォーム、ジャージ等のその他の衣類全て同様）

2 最終エントリー確認手順

《別紙参照：【重要】2024 年全日本実業団選手権・一次招集方法および 1500m以下の種目（リレー含む）の当日番組編成実施について》

(1) 一次招集の流れ（全種目対象）

①一次招集を各エントリー種目の競技開始 2 時間前までに以下のいずれかの方法で完了すること。

※男子 100m予備予選は 2 時間 30 前までに完了

《方法 1》Google Forms（下記 URL または QR コード）から入力（9/20 より入力可）

男子選手 URL：<https://forms.gle/9LUXrbDDCovZMmbg7>

女子選手 URL：<https://forms.gle/VzyigCKDE4sR25TY9>



男子選手 QR コード



女子選手 QR コード

《方法 2》競技者受付横に設置するホワイトボードに掲示のエントリーリストに○印を記入

※1. 全種目一次招集を行い、一次招集フォームの入力または競技者受付での○付けがない競技者は、競技に参加することができない

※2. リレー参加チームについては、代表者 1 名が実施（上記方法 1 もしくは 2）すれば良い

※3. ラウンドアップした場合（予選通過）は、再び上記作業をする必要は無い

②確定した番組編成は、各競技開始 90 分前までに当大会ホームページの速報サイト（以下、速報サイト）に掲載する。※男子 100m予備予選は 2 時間前までに掲載

(2) 当日番組編成について（下記 17 種目）

当大会は、1500m以下のトラック種目の予選（男子 100mは予備予選含む）及びタイムレース決勝を対象に、一次招集リストおよび各種目 2 時間前までの欠場届をもって当日番組編成を行う。

対象種目：男女 100m・男女 200m・男女 400m・男女 800m・男女 1500m・男子 110mH・女子 100mH・男女 400mH・男女 4×100mR・男子 4×400mR（全 17 種目）

締切時間：対象種目の予選（予備予選含む）・タイムレース決勝の第 1 組競技開始 2 時間前まで

※男子 100m予備予選は 2 時間 30 分前まで

(3) 【3000m以上のスタートリスト】について

対象種目：男女 5000m、男女 10000m、男女 3000mSC、男女 10000mW、女子 J3000m、男子 J5000m
9/13（金）17:00 時点までの欠場届を集約し、9/17（火）にスタートリストを公開予定

※欠場が確定している場合は速やかに提出すること

(4) 欠場届について（全種目対象）

当大会申込完了後に欠場する競技者は、本大会規定の「欠場届」を提出すること。

【欠場届の提出方法について】

① 9/20（金）までに届ける場合はメールにて受け付ける。

② 大会期間中については、競技者受付またはメールにて受け付ける。

※指定のメールアドレス(jitaTF.info@gmail.com)宛に「欠場届」を添付して提出

メールタイトルを、【2024 選手権欠場届_チーム名称_チーム連絡責任者氏名】とすること

③ 提出日時は、大会申込後から大会当日の各種目競技開始 2 時間前までとする。

※1. 欠場が早期に確定している場合や、提出期限以降もケガ等で止むを得ず欠場する場合、次ラウンド進出後の欠場の場合も、期日にかかわらず速やかに「欠場届」を提出すること

※2. 2種目以上で欠場する際には、種目ごとに欠場届を提出すること

※3. 男子 100m予備予選は2時間30分前までに提出すること（S標準突破者も同様）

【注意】「欠場届」の提出なく欠場した場合は、次年度の本大会に出場を認めない処置を講ずることがある

- 競技者受付及びT I C受付開始時間は、以下の通りとする。

9/21（土）13:00～ 9/22（日）7:30～ 9/23（月）7:30～

3 練習場および練習について

練習は「練習会場に関する注意事項」を確認の上、危険防止に十分注意し、競技役員の指示に従うこと。**※補助競技場【サブ】でも投てき練習（やり投・砲丸）を行うため、特に注意すること**

4 招集（二次招集）について **※現地で競技役員の指示に従うこと**

(1) 招集所は、メイン競技場第2ゲート1500mスタート側入り口付近に設ける。

(2) 各種目の招集開始時刻と招集完了時刻は、競技日程を参照のこと。

(3) 招集方法については、次の通りである。

①競技者は、招集開始時刻に招集所で待機し、競技役員から点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用靴のスパイクピンおよび靴底の厚さ・競技場内で着用するウェアや持ち込むバック類の商標の点検を受ける。また携帯電話等、競技規則TR6.3.2に関する機器を持ち込んでいないか確認を受ける。競技場内に持ち込めない物は、競技者係で預かり、T I Cにて返却する。

※. 通信機能付き（外部と会話ができる機能）の腕時計については着用・持ち込み不可とする（スマートウォッチ等）

②トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を2枚競技者係から受け取る。

③多種目同時に出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が、T I Cに用意した「多種目同時出場届」に記入し第1種目の招集開始時刻までに招集所に提出する。

④リレーに出場するチームは、所定のリレーオーダー用紙に記入し、第1組の招集完了時刻の1時間前までに、招集所に提出する。提出後の変更は負傷等の場合を除き認めない。

⑤代理人による最終点呼は認めない。招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。

⑥男女の棒高跳はメイン競技場の競技実施場所で招集を行う。

（ピットは、バックストレート側に設置する）

5 アスリートビブス（ナンバーカード）について

(1) アスリートビブスは、配布された大きさのままでユニフォームの胸部・背部につける。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。

(2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識2枚（招集所で配布）を両腰につける。

(3) 5000m、10000m、10000m 競歩種目は別アスリートビブス（腰ナンバーと同じ番号）を着用する。

(4) トランスポンダー付き腰ナンバー標識について（男女10000m、男女10000m競歩）。

・別アスリートビブス（腰ナンバーと同じ番号）を着用する

・周回のトランスポンダー付き腰ナンバー標識は招集所で配布し、左腰につける

※トランスポンダー付き腰ナンバー標識は、レース終了後にフィニッシュ付近にて回収する

6 競技について

(1) トラック競技は全て写真判定装置を使用する。投てき競技（砲丸投は除く）および跳躍競技（棒高跳・走高跳は除く）は光波距離計測装置を使用する。

(2) 短距離種目については、スタート・インフォメーション・システムを使用して競技を行う。

スタート・インフォメーション・システムに不具合が生じた場合は、スタート審判長の判断によりスタートをやり直す場合がある。

(3) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はエントリーリスト（当日番編種目はスタートリスト）記載順で行う。

(4) 男子100m予選、予選が行われた種目の決勝の組み合わせおよびレーン順は、主催者が公正に決定し

その結果を速報サイトに掲載する。

- (5) 男子 100m の S 標準記録有資格者は予選 (9/22) から競技を開始する (9/21 予備予選免除)。
男子走幅跳の S 標準記録有資格者は決勝 (9/22) から競技を開始する (9/21 予備ラウンド免除)。
- (6) トラック競技における次のラウンド進出者のプラスの決定について、その最下位で 100 分の 1 秒単位で同記録があった場合、1000 分の 1 秒で着差判定をして進出者を決める。着差がない場合でレーン数に余裕があれば同記録の者は次のラウンドへ進出できる。レーン数の不足する時は抽選する。また、決勝の棄権で空きレーンが出た場合、9 位以降の競技者を補充する。運用は次の通りとする。
《対象種目：男女 100m・200m、男子 110mH、女子 100mH、男子 4×100mR》

決勝を棄権する競技者で予選レース後に欠場することが判明している場合は、記録確定(決勝への進出リスト公開)から 20 分以内に競技者受付に申し出ること (欠場届を提出)。空きレーンによって次ラウンドに出場できる競技者への連絡は、上記の欠場締切後 10 分以内に主催者からエントリー時に記載した連絡責任者または本人へ連絡する。上記時刻以降の棄権が出た場合は、原則、補充の対応は行わない。

※1. B 決勝の設定がある種目は、17 位以降からの繰り上げはしない

※2. 空きレーン：主催者から直ぐに連絡がとれない時は、次候補者へ繰り上げる場合がある

- (7) 競歩競技について

男子 50 分、女子 58 分を過ぎて新たな周回には入れない。

- (8) 三段跳の踏切板は、男子 13m・女子 11m の地点とする。
- (9) 4×100mR の 2～4 走者のマークは主催者が用意したものを使用すること。また、競技終了後の回収は各チームで責任をもって行うこと。
- (10) フィールド競技の公式練習は原則 2 回とし、全て競技役員の指示に従う。競技開始までに時間がある場合は 3 回目以後の練習もありうる (跳躍・投てき種目共通)。
- (11) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

- ① 荒天、その他特別な状況が生じた場合、審判長の判断により変更することがある。
- ② 棒高跳の公式練習は、任意の高さおよびアップライトの位置 (現地で担当競技役員に申告する) で試技順に 2 回行う。ゴムバーの高さを正規の高さに設定して行う。

種目	練習	バーの上げ方	
男子走高跳	2m00	2m00～2m15 まで	以後 3cm 刻み
	2m10	5cm 刻み	
女子走高跳	1m60	1m60～1m70 まで	以後 3cm 刻み
	1m70	5cm 刻み	
男子棒高跳	任意の高さ	4m80～5m00 まで 20cm 上げ 5m00～5m40 まで 10cm 刻み	以後 5cm 刻み
女子棒高跳	任意の高さ	3m40～4m00 まで 10cm 刻み	以後 5cm 刻み

- (12) 跳躍競技で使用するピットは、男子走幅跳 (予選ラウンド) と女子走幅跳のみ 2 ピットで行い、他はすべての競技で 1 ピットとする。
- (13) 男子 100m の予備予選、男子走幅跳の予選ラウンドについて
男子 100m は予備予選、男子走幅跳においては予選ラウンドを実施するため、通過条件を以下のとおりとする。

種目	通過条件
男子 100m	① 予備予選は各組 1 着 + α ($\alpha = ③ \times \text{予備予選各組 1 着の人数}$) ② 上位 X 名が予選へ進出 ③ $X = (\text{予選 3 2 名} - \text{S 標準記録参加者数})$ ※予備予選 2 時間 30 分前までの欠場届を集約 (S 標準記録参加者含む)
男子走幅跳	① 予選ラウンドの試技は 3 回 ② 上位 Y 名が決勝へ進出 ③ $Y = (\text{決勝 1 2 名} - \text{S 標準記録参加者数})$ ※予選ラウンド 2 時間前までの欠場届を集約 (S 標準記録参加者含む)

(14)トラック競技の直線種目（男女100m、女子100mH）については、当日の風向によってはバックストレートを使用する場合がある。※男子110mHは対象外

(15) 【デフ競技者】

デフ競技者のトラック種目のスタートにおいては「光刺激スタートシステム」を使用できる。また、情報保障の配慮から手話通訳士が同行できる。

「光刺激スタートシステム」の仕様詳細については、下記のとおりとする。

- ① 「オンユアマークス」・・・赤、「セット」・・・黄、「号砲」・・・緑（点滅）とする。
- ② 競技者は、システムの使用・不使用を選択することができる。
（不使用の場合は、システムをレーンナンバーの後方へ移動する。）
- ③ システムが正常に動作しなかった場合は、直ちにピストルを鳴らしレースを中断させる。その後、システムの故障、不具合により使用の継続ができない場合は、そのレースより使用を禁止し、従来通りの（目視）スタートへ変更する。ただし、システムが復旧した場合は再使用する。

(16) 【ドリームチャレンジ：オープン扱い】

当大会は、一部の種目で各数名ずつ中国地区選抜の高校生を招待する。

※1. オープン扱いとし、トラック種目の上位ラウンド進出はなし

（男子100mは9/22の予選に参加）

但し、フィールド競技（ベスト8がある種目）において実業団選手が8名に満たない場合は、6本の試技を行える場合がある

※2. 番組編成は申込資格記録により、実業団選手と同様に行う

7 コーチングエリアの設置について

- (1) フィールド競技については、コーチングエリアを設置する。
- (2) 競技中の競技者に対するアドバイスは、コーチングエリア内で行うこと。

8 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入退場は、全て競技役員の指示により行う。
- (2) 競技に出場する選手は、メイン競技場（第2ゲート付近）に設置する招集所から各競技場所へ移動する。メイン競技場での競技が終了した選手は、第1ゲート（フィニッシュ付近）に設置するミックスゾーン・ポストイベントコーナーを通過して第2ゲートから退場する。
- (3) 表彰対象者およびドーピング検査対象者については、競技役員の指示に従う。

9 競技用靴・用器具について

- (1) シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）

本大会は、WA規則 TR5 の改定ルールを適用する。

※詳細は日本陸連HP参照 <http://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

（注）三段跳・棒高跳用「Adizeo TJ/PV」は使用不可

- (2) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

ただし、投てき用器具は、各人所有のものを検査の上使用することができる（1名2個まで）。

※WA認証品であり、日本陸連検定済みのものに限る

投てき用器具の検査受付は、各競技種目の競技開始時刻120分前までに「投てき器具検査申請書」をTICで受取し、第4ゲート内器具検査場に持参すること（競技前日から受付可。※当日の混雑を避けるため、前日までの受付にご協力ください）。出場する競技者もしくは代理人が「投てき器具検査申請書」と共に直接持参すること。検査後の用器具は、主催者預りとし、その用器具は全競技者が使用できるものとする。返却は競技終了後、TICで預かり書と引換に行う（競技場備え付けの投てき用器具と同じでも持ち込み可）。競技場に用意してある「投てき物一覧表」は別途ホームページ参照すること。

棒高跳用ポールについては、棒高跳ピットにて担当競技役員が検査を行う。

- (3) フィールド競技で助走路に使用するマーカーは、主催者が用意したものを2個まで使用することができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1個使用することができる。

10 抗議・上訴について

- (1) 競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技規則 TR8 に定められている時間内（同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後 15 分以内、それ以外は 30 分以内）に競技者または代理人が T I C に申し出る。その後、T I C を通して審判長に対して口頭で抗議を行う。
- (2) さらに、審判長の裁定に不服の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通してジュリーに文書で申し出る。(TR8.7.2)

11 ドーピングコントロールテストについて (大会要項参照)

12 表彰について ※現地で競技役員の指示に従うこと

- (1) 各種目の競技終了後に、正面スタンド前で1~3位まで表彰を行う。
※ミックスゾーン・ポストイベントコーナー通過後に行う
- (2) 各種目の優勝者には選手権章、3位までの入賞者には副賞を授与する。
- (3) 団体総合及び男女別総合得点優勝チームは9月23日(月)の全競技終了後に表彰を行う。第2位から6位までのチームに賞状を授与する(後日送付)。総合得点が同点の場合、優勝種目の数により決定する。なお、優勝種目が同数の場合、2位の数により決定する。以下これに準ずる。クラブチーム登録者が8位以内に入賞した場合はその順位の得点は付与しない(繰り上げなし)。但し、順位による個人表彰は対象とする。

13 その他

- (1) ADコントロールを実施するため、配布したADカードは常に携帯する。監督・コーチのADカード配布上限枚数については、競技者1名につき1枚、2名~3名は2枚、4名以上は3枚以内とする。リレー種目のみのエントリーの場合は、1チームにつき1枚とする。
※、チーム関係者ADは監督・コーチADと同数、「撮影許可」ADは1チームへ1枚とする
「撮影許可」ADのみでは、スタンド入場不可(入場チケットまたは他のADが必要)
- (2) 衣類の広告に関する規定については、「競技会における広告および展示物に関する規程」に従い、違反に対しては、主催者において処置する。表彰を受ける際もこれが適用される。
- (3) 更衣室は、野外音楽堂に設置する。※メイン競技場1F更衣室は使用不可
- (4) 記録はその都度発表(速報サイト)する。
- (5) スタンドの応援については、コーチ席や報道エリアなどテープで制限した範囲以外の席とする。また、グラウンド観戦付き入場券購入の方のみ5000m・10000mの応援については、グラウンド内(レーンの外側)での応援を認める。
※別紙「応援に関する注意事項」、チケット参照
- (6) 応援の際の応援グッズ(スティックバルーン・ハリセン、衣類、帽子等)手持ちのものについては、所属企業・チーム名および競技者名の掲載を認める。横断幕・のぼり旗等の固定のものについては、広告協賛先のみ掲示を認める(別紙:「応援に関する注意事項」参照)。固定のものについては、正面スタンドは全面禁止、サイド・バックスタンド上段手すりのみ可とする(競技場最前列は全面禁止とする)。ただし、競技運営などに支障がある場合は、撤去または移設を指示する場合がある。※毎日撤去して持ち帰ること
【別紙参照: 応援に関する注意事項】
- (7) 貴重品類は各自で保管すること。万一紛失・盗難にあっても主催者は責任を負わない。
- (8) 遺失物類についてはT I Cで管理する。
- (9) 撮影(写真・動画等)について
・競技場スタンドにおいて、一眼レフやミラーレスなどのレンズが交換できるカメラ、ビデオなどのズーム機能が付いたカメラは持ち込み禁止(スマートフォンやタブレットは対象外)
① 撮影禁止エリア(競技場スタンド中~下段、グラウンド内観戦時はいかなる場合も撮影禁止)
※競技場スタンドにおいて事前申請を行ったピブス着用のTV・報道と、チーム広報(所属選手のみ)はスマホ・タブレット以外も持ち込み、撮影することができる。また、「監督・コーチ」「競技者」「チーム関係者」「撮影許可」ADカード着用の上、所属チームの選手をコーチン

グ用で撮影 する場合のみ認める (但し、スマートフォンやタブレットに限る)。

② 撮影禁止方向 (撮影禁止エリア外であっても不可)

※特定の競技中、選手の前・後方向はすべて禁止とする。

但し、コーチング用等で、AD カード着用のチーム関係者が所属選手を撮影する場合は除く。

③ その他の撮影制限も遵守すること【別紙参照:「撮影 (写真・動画等) 制限」に関するお願い】

- (10) 応急処置を必要とする事故が発生したときは、救護室で処置を受けることができる。
 (11) 「ポール・やり」の返送のみ着払いに限り第2ゲート用器具庫5横「実業団連合事務局」で対応する。

※詳細は、別添「ポールおよびやりの配送に関して」を参照のこと

- (12) 大会関係者が撮影した、写真・ビデオは主催者の一般社団法人日本実業団陸上競技連合に使用権限があり、SNSなど情報発信に使用することがありますのでご了承ください。
 (13) 提出書類等については下記の通り行う。(各用紙はT I Cで配布する)

	提出書類	提出先	提出時間
1	欠場届	当競技注意事項の「2 エントリー確認手順について」の「(3)欠場届提出手順・日程について」参照	
2	多種目同時出場届	招集所	第1種目の招集開始時刻まで
3	リレーオーダー用紙	招集所	第1組招集完了1時間前まで
4	投てき器具検査申請書	第4ゲート内器具検査場 (用紙はT I Cで受取)	各競技種目の競技開始時刻 120 分前まで
5	抗議申立て (口頭)	T I C (経由審判長へ)	正式記録発表後 30 分以内まで、同一日に次のラウンドがある場合は、15 分以内まで
6	上訴申立書 (文書)	総務員 (T I C・抗議)	審判長裁定後 30 分以内まで、同一日に次のラウンドがある場合は、15 分以内まで
7	プログラム訂正届	競技者受付	9月21日は13時30分まで
			9月22日・23日は9時00分まで

- (14) 開門時刻及び閉門時刻は次のとおりとする。※練習会場としての開閉門時刻

期日	開門時刻		閉門時刻	
	【メイン】	【サブ】	【メイン】	【サブ】
9月20日 (金)	13時00分	—	17時00分	—
9月21日 (土)	10時00分	13時00分 (※)	13時00分	20時00分
9月22日 (日)	—	7時30分	—	20時00分
9月23日 (月)	—	7時30分	—	18時30分

※9月21日 (土) 【サブ】やり・砲丸練習のみ10時00分～13時00分使用可とする

- (15) 監督会議については、9月21日 (土) 15時00分～15時15分で実施する。

実施方法：

- ① 対面 (場所：メイン競技場 1F 会議室)
 ② Zoom <https://us06web.zoom.us/j/86296120666?pwd=wAvZGp5Uli5GgtSbsLFV75qErCXMDs.1>
 ミーティング ID: 862 9612 0666 パスコード: 109842

- (16) 選手待機場所 (チーム陣地等) について「参照：会場全体図」

- ① 競技場 2F (メインスタンド裏コンコース) アスリートエリア
 ② 野外音楽堂 (サブ競技場の東側：サブ競技場内のバックストレート付近が出入り口)

開放時間：①・②共に、9/21 (土) 13:00、9/22 (日) 7:30、9/23 (月) 7:30

※1. 競技者受付にて先にチーム受付を行うこと「ADカード」必須

※2. ①と②の陣地のみ上記開放時間 (競技場スタンド内へは各日最初の競技 30 分前とする)

【以下、利用不可】待機場所 (陣地厳禁)

雨天走路、テニスコート間の通路内、競技場 2F 一般観客用通路

練習会場に関する注意事項

1 練習会場および使用時間は、下記の通りとする。 **※現地で競技役員**の指示に従うこと

会場名	競技種目	9月20日 (金)	9月21日 (土)	9月22日 (日)	9月23日 (月)
【メイン】 9レーン	トラック種目	13:00~17:00	10:00~13:00	×	×
	ハードル・走幅跳・三段跳・走高跳	13:00~17:00	10:00~13:00	×	×
	棒高跳 (※1)	×	▲ 10:00~13:00	女 8:30~ 男 13:15~	×
【サブ】 8レーン	トラック種目	×	13:00~20:00	7:30~20:00	7:30~18:30
	ハードル・走幅跳・三段跳・走高跳	×	13:00~18:00	9:00~18:00	7:30~15:00
	投てき種目 (※2 砲丸・やり)	×	砲丸・やり 10:00~13:00	やり 女 9:15~10:45 男 12:15~13:45	×
ちよるる広場	投てき種目 (※2 砲丸・円盤・ハンマー)	×	砲丸 13:00~17:00	砲丸 女 8:00~9:40 男 13:00~14:30 円盤 10:00~13:00 ハンマー 14:30~17:00	円盤 7:30~10:45 ハンマー 11:30~13:50
【メイン】 雨天練習場	W-u-p程度 (※3)	13:00~17:00	10:00~20:00	7:30~20:00	7:30~18:30

※1. 男女の棒高跳は主競技場での練習に引き続き正式競技を開始する。

▲：9/21（土）の練習は、雨天の場合不可とする

※2. 投てき種目については、砲丸・やり投は補助競技場【サブ】、砲丸・円盤・ハンマー投は【ちよるる広場】で行う。投てき用器具は各自のものを使用すること

※3. 室内練習場については、W-u-p程度の範囲で使用可とする。スペースが狭いため事故等ないように充分注意して行うこと（スターティングブロック・ハードル練習可：主催者で用意する）。走り幅跳びの練習は不可とする。

2 入退場時には、必ずADカードを提示すること。

3 練習は、競技役員

の指示のもと、事故防止に十分配慮して行うこと。

4 練習に使用する用具は、原則として各自持参すること。（スタブロ、ハードルは準備あり）

5 スパイクのピンの長さは、9mm以下とする。ただし走高跳・やり投げのスパイクについては、12mm以下とする。

6 練習におけるレーンの使用については下記のとおりとする。

■メイン：9レーン（芝生内立ち入り禁止）

・1~3レーン：中・長距離・競歩種目

・4~7レーン：短距離種目（ホームストレートはスタート練習）

・8、9レーン：100mH、110mH（ホームストレート）

・8、9レーン：400mH、第1曲走路からバックストレートにハードルを設置する

■サブ：8レーン※芝生内でのW-U-PおよびC-DOWNは可能とするが、投てき練習時は要注意

・1~2レーン：中・長距離・競歩種目

・3~6レーン：短距離種目（ホームストレートはスタート練習）

・7~8レーン：100mH、110mH（ホームストレート）

※但し、競技開始前など人数によってはハードルを5~8レーンへ増設する場合あり

・7~8レーン：400mH、第1曲走路からバックストレートにハードルを設置する

※但し、競技開始前など人数によってはハードルを5~8レーンへ増設する場合あり

◇4×100mR練習について

バトンパス練習については、原則サブ3~6レーンの第一曲走路~バックストレート~第3コーナーで行うこと。

※小学生・中学生・高校生招待りレー種目の練習についても同様とする

●サブ競技場（スタンド以外）・室内練習場内でのチーム陣地等の確保は禁止とする